

# わかやま母親通信

生命を生み出す母親は  
生命を育て  
生命を守ることをのぞみます

第51号 2017年2月25日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内  
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w\_haharen@wkn.or.jp

5/21(日)in 紀の川市:貴志川中学校 貴志川生涯学習センター

## 第62回和歌山県母親大会県実行委員会を立ち上げました

1月28日(土)第一回県実行委員会を開催しました。

全体会講師は宇都宮健児氏を予定していることは、すでにお知らせしている通りです。分科会は20程度を予定していますが、その内現地実行委員会が中心になる9分科会は、すでに責任グループが出来て動き出しています。どんな魅力的な分科会ができるか、楽しみです。

少しだけ、現地実行委員会の企画をのぞいてみましょう。 **ワクワク～ドキドキ～**

**親子企画** 乳幼児期-遊び大好き!絵本大好き! 児童期-作って遊ぼう ○○を調べよう

**特色ある企画** 学ぼう 語ろう 味わおう(食生活) ゆる体操でリフレッシュ etc.

**体験** 藍でスカーフを染めよう(私だけの作品)

**見学** 根来寺・一乗閣ツアー(バスで)

**まだ、他にもあるんですよ。**

### 全体会講師: 宇都宮健児氏の著書を紹介します

たくさん出版されていますが、新刊本を紹介します。

\* 『自己責任論の嘘』(ベスト新書)2014年 886円

\* 『希望社会の実現』(ベスト新書)2014年 1296円

\* 『今こそ世直し「悪」と闘う』(朝日新書)

2014年 842円

### HP開設のお知らせ

和歌山県母親大会【公式ページ】と打ち込んで下さい。

今大会の準備はこれからなので随時追加していきます。

## 第50回近畿ブロック母親運動学習会に、和歌山県より22名参加

2月11～12日(土日)、滋賀県雄琴温泉の琵琶湖グランドホテル(大きな観光ホテルでした!)で開催されました。あいにくの降雪の予報で、安全に時間通り着けるのかと、前日より心配をしていたのですが、和歌山のみなさんが無事到着されてほっとしました。

第1日目は、「TPPと食・農」(和歌山担当)など、6分科会に分かれて学習と話し合いをしました。「TPPと食・農」では、大阪農民連の佐保庚生氏にミニ講演と助言をしていただきました。TPPについては批准・発効は不可能な状態ですが、今後考えられ

る日米2国間協議がTPPの中身をベースとして、米国から一層の譲歩が強圧的に迫られることが予想され、食の安全や産業、日本的なセーフネットがズタズタにされる危険性があるとのことでした。農協解体も、米国からの要請なのだという話もありました。地域での生産者と消費者の連携、「安ければいい」との考えだけでなく家業として成り立つ「適正価格」について考えていく大切さなど話し合わせ、「学校給食に地場野菜を」の要求運動や産直運動を頑張っている地域の取組みなどが交流されました。

第2日目は、神戸大学名誉教授の二宮厚美氏を迎え、平和と憲法を巡る情勢について学びました。二宮氏は、憲法の9条(平和)と25条(福祉)の条文は、双子の兄妹として密接な相越智らの条文も互関係にあり、共に重要だとのことのお話がありました。アメリカの憲法にはこのどちらの条文もなく、経済的理由で医療も受けられず大学にも行けない貧困層が、軍隊に入ることによってそれらを解決せざるを得ない状況に置かれているとのことでした。「改憲を絶対許さず、憲法を守り活かす」新たな決意とともに、展望のある貴重な学習ができました。

2日間で、のべ422名の参加があったとの報告が主催者からありました。

## 第六二回和歌山県母親大会の開催にあたって

和歌山県母親大会は、生命を生みだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げて、母親・女性の要求と活動を持ち寄り、学び合い、集約する、交流と連帯の広場です。

分科会の「申し合わせ」は満場一致で決定し、一致できないときは、今後の課題として討議の過程を大切にします。

一 第六二回和歌山県母親大会は、大会実行委員会が主催します。  
二 大会実行委員会は、和歌山県母親大会連絡会の呼びかけに応じた郡市連絡会・県団体・労組(女性部)によって構成され、その代表(複数可)及び必要な個人を実行委員とします。  
三 実行委員長一名、副実行委員長若干名、事務局(集団)を選出します。

三 大会実行委員会は、大会の大綱その他必要な決定を行います。  
四 大会実行委員会は、現地(那賀母親大会実行委員会)と協力し、大会の成功をめざします。

五 県常任委員会は大会運営委員会、県役員会は大会本部役員会として、大会成功に向けて任務を果たします。

六 大会実行委員会は、二〇一七年一月から六月までとします。  
七 会員券・分担金・その他財政活動によって大会を支えます。

八 大会実行委員会の承認を求めます。  
大会実行委員会の終了後は、和歌山県母親大会連絡会として、「宣言」決議「申し合わせ」にもとづいて運動をすすめます。

二〇一七年二月二十八日

第六二回和歌山県母親大会実行委員会